

集団補聴システムの普及実態に関する調査研究

実態調査票

基本情報

※本1ページおよび2ページ、3ページをお手数ですが、ご記入ください。

居住地	_____ 都道府県 _____ 区市町村
障害の状況	両耳とも難聴 ・ 片耳のみ難聴（一方は難聴なし） ・ 片耳のみ難聴（一方は失聴）
補聴器の装用状況	両耳に装用 ・ 片耳に装用 ・ 補聴器は装用していない
人工内耳の装用状況	両耳に装用 ・ 片耳に装用 ・ 人工内耳は装用していない
装用している補聴器のタイプ	耳かけ型 ・ 耳あな型 ・ ポケット型 ・ めがね型
お使いの補聴器・人工内耳に付属している補聴システム	磁気誘導コイル（Tコイル） ・ FM受信機 ・ ついていない ・ 不明

集団補聴システムの普及実態に関する調査

質問数12問、回答所要時間の目安は15分程度です。
各設問の当てはまる項目に○を記入してください。

問1. 集団補聴システムについてご存知ですか。

☐	1 知っており、実際に使用している	
☐	2 知っているが、使用はしたことがない	⇒問3. へ
☐	3 知らない	⇒問11. へ

問2. 問1. で「1. 知っており、実際に使用している」と回答した方にお聞きます。
ご使用になっている集団補聴システムの種類をお選びください。⇒ご回答後は、問4. へ

☐	1 ヒアリングループシステム
☐	2 FM補聴システム
☐	3 赤外線補聴システム
☐	4 デジタル補聴システム
☐	5 その他(下記に具体的にご記入ください)
☐	

問3. 問1で「2. 知っているが、使用したことはない」と回答した方にお聞きます。
使用したことのない理由について、該当するものをすべてお選びください。⇒ご回答後は、問10. へ

☐	1 補聴器の使用のみで特に不便を感じていないため
☐	2 補聴システムの具体的な使用方法が分からない
☐	3 使用する機会がない(使用する機会がイメージできない)
☐	4 その他(下記へ具体的にご記入ください)
☐	

問4. 集団補聴システムを使用するきっかけとなった点について、該当するものをすべてお選びください。

☐	1 医療機関や補聴器販売店から勧められたので
☐	2 集団補聴システムがご自身にとって有用であると感じたので
☐	3 職場・学校で必要になったため
☐	4 その他(下記に導入のきっかけをご記入ください)
☐	

問5. 集団補聴システムの受信機をどのように準備しているか、該当するものをお選びください。

☐	1 使用している補聴器や人工内耳に内蔵されている
☐	2 必要に応じて借り出している
☐	3 補聴器とは別途購入している
☐	4 その他(下記に具体的にご記入ください)
☐	

問6. 集団補聴システムを使用する場所について、該当するものをすべてお選びください。

☐	1 役所の窓口
☐	2 劇場等の文化施設
☐	3 公共交通機関の窓口
☐	4 勤務先・学校
☐	5 その他(下記に具体的にご記入ください)
☐	

問7. 集団補聴システムが有効だと感じる用途について、該当するものをすべてお選びください。

☐	1 授業や講演会
☐	2 会議
☐	3 窓口での説明
☐	4 その他(下記に具体的にご記入ください)
☐	

問8. 集団補聴システムの設置状況をどのように確認しているか、該当するものをすべてお選びください。

☐	1 ヒアリングループマークを確認する
☐	2 係員や窓口で確認をする
☐	3 事前にホームページ等で確認をする
☐	4 その他(下記に具体的な確認方法をご記入ください)
☐	

問9. 集団補聴システムの設置施設における、ご自身のシステム利用状況について該当するものをお選びください。

	1 集団補聴システムが設置してある施設では、必ずシステムを利用する
	2 集団補聴システムが設置してある施設では、時々システムを利用する
	3 集団補聴システムが設置してあっても、あまり利用しない
	4 集団補聴システムが設置してあっても、殆ど利用しない

→ 「殆ど利用しない」と回答した理由について該当するものをすべてお選びください。

	1 集団補聴システムを利用する必要性がない(利用しなくても聞き取れる)
	2 集団補聴システムの音質に不満がある
	3 集団補聴システムが普及していないので利用の習慣がない
	4 機器の設置の案内が不十分
	5 その他(下記に具体的な理由をご記入ください)

問10. 集団補聴システムの設置を希望する場面や施設などがありましたら、具体的にご記入ください。

問11. 補聴器を使用しても聞き取りに困難を感じる場面について、具体的にご記入ください。

問12. 集団補聴システムおよび人工内耳、補聴器以外に、コミュニケーション手段として活用しているものを全てお選びください。

	1 筆談
	2 手話通訳
	3 要約筆記
	4 UDTーク等のアプリ
	5 コミュニケーション支援ボード
	6 難聴者向けスピーカー(コミュン等)
	7 遠隔手話サービス
	8 その他(下記へ具体的にご記入ください)

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。